

Title: 「思い出だけ捨てればいいじゃない。」



大谷 可奈子
154センチ、45キ
ロ、A型、おうし
座。
好きなのは、アジ
ア・インド・家族・
ネコ・カレー・すし
です。

● 最近のエントリー

- 📅 上海ベイビー！！
(2006.07.28)
- 📅 うわ~~~~ん(: _ ;)
(2006.07.23)
- 📅 ◦(マル)あげよう
(2006.07.22)
- 📅 首の盗みに恋の歌～皆様、
道中お氣をつけて！～
(2006.07.21)

● アーカイブ

- 📅 2011年12月
- 📅 2011年02月
- 📅 2010年02月
- 📅 2010年01月
- 📅 2009年09月
- 📅 2009年07月
- 📅 2009年05月
- 📅 2009年04月
- 📅 2008年11月
- 📅 2008年10月
- 📅 2008年09月
- 📅 2008年05月
- 📅 2008年01月
- 📅 2007年12月
- 📅 2007年11月
- 📅 2007年10月
- 📅 2007年09月
- 📅 2007年08月
- 📅 2007年07月
- 📅 2007年06月
- 📅 2007年04月
- 📅 2007年03月
- 📅 2007年01月
- 📅 2006年12月
- 📅 2006年11月
- 📅 2006年10月
- 📅 2006年09月
- 📅 2006年08月
- 📅 2006年07月
- 📅 2006年06月
- 📅 2006年05月
- 📅 2006年04月
- 📅 2006年03月

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

OLYMPUS
Your Vision, Our Future

思い出だけ捨てればいいじゃない。 > 2006年07月 アーカイブ

06.07.28

上海ベイビー！！

Tweet

いいね! 0

チェック

というタイトルの本をもらったことがありましたっけ。

来たよ、上海！
華の上海！！

昨日1日で、大理から上海への大移動したわけで、
ヘトヘトだったんですが(バス座り疲れ、待ち疲れ)
夜11時の飛行機から見おろす上海の夜景と、
80キロでぶっとばす高速道路。

気持ち良すぎ！！

気分は東京事変のブラックアウトだったんだけど、
残念ながら充電切れ。ちゅっ！

ショートステイだけど、満喫しよう。
(雲南でひもじかった分)

カテゴリ:

post by 大谷 可奈子 | 日時: 2006.07.28 | [パーマリンク](#) | [コメント\(3\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

思い出だけ捨てればいいじゃない。 > 2006年07月 アーカイブ

06.07.23

うわ~~~~ん(: _ ;)

Tweet

いいね! 0

チェック

ワタシやっぱり中国合わないアルヨ・・・

ワタシのことマトモに人扱いしてくれるの、
昆明の李さんだけアルヨ・・・

カテゴリ:

post by 大谷 可奈子 | 日時: 2006.07.23 | [パーマリンク](#) | [トラックバック\(0\)](#)

思い出だけ捨てればいいじゃない。 > 2006年07月 アーカイブ

06.07.22

◦(マル)あげよう

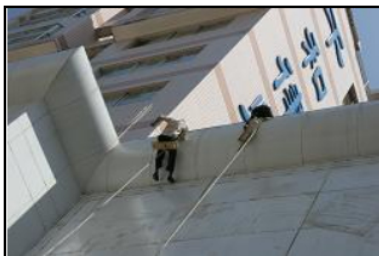
Tweet

いいね! 0

チェック









今日は天気がよかったので昆明をブラブラ歩いてみた。

今日の私のテーマソング『。(マル)あげよう』
はい、No Planの歌ですね。

たしか、タイトルはさまぁ〜ずの大竹が考えたんだと思う。

人間、何に励まされるかわからないもんだ。

いっぱい人が歩いてたけど、
この人達全員に違う人生があって、
色々なものを見たり、
色々なことを感じたり、
思い悩んだりしているんだなぁ。

そんなことをしみじみ考えていたら、

泣いて〜笑って、そーれが人生♪

おっ、頭の中にNo Plan登場！

でも私はまだまだ発展途上で、まだまだ頑張らなきゃいけないから、
今の自分にはまだあげられないけど、
いつか、。(を)あげたいと思える自分になれるといいな、
なんて思った。

だから、ケータイに貼ったショーンマイケルズのシールが破れてしまったからといって、
そういつまでも落ち込んではいられないのだ！
すごいショックだけど。

でも、ズボンのポケットに毎日こすられて大変だったのに、
ここまで耐えたマイケルズに、
。(あげよう。



ね！

そして私の弱点が恥ずかしい程に露呈された写真たち。
なぜみんな右向いてるのかね。。。

カテゴリ：

post by 大谷 可奈子 | 日時: 2006.07.22 | [パーマリンク](#) | [コメント \(6\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

06.07.21

貧の盗みに恋の歌～皆様、道中お気をつけて！～

[Tweet](#)

[いいね！ 0](#)

[チェック](#)

石林の日々。

昆明に帰ってきた今となっては笑い話かもしれないが、、、
とにかく苦しい魔の四日間だった。私にとっては。
22年間生きてきて、あんなに食べ物に困ったことがあったらうか。
私は石林の公園内のホテルに宿泊してしまった為（嗚呼、しくじった、しくじったおさあ、林
檜風に！）
公園から出ると、ホテルに戻るのに、入り口で入場料140元（2000円くらいかな）を払わな
ければいけない。
ゲッ。
やだぁー

こりゃぁ撮影の日以外は公園の外出れないな。

しかし残念なことに、石林はものすごーく観光地で、
今は夏休みの為、大量の観光客が、大量の観光バスに乗ってやってくる。
故に、公園内のレストランは、団体客用。
ああ、でっかい、丸いテーブル。
中華料理は大勢で分けて食べるもんなんです。
大勢用だから、でっかくて、高いんです。
だから一人でこんなところ来たって、食べるもんないんです。
店員も私なんて（卑屈！）放置なんです。

四日間、本当に食べ物に困った。
撮影前日なんぞは、やっとありつけた食事がカップラーメンとポテトチップスで、
でも、夜気持ち悪くなってせっかく食べたのに全部吐いて、げっそり。
しかも私を困らせるものは食事ばかりではなかった。

シャワーがね。
出ないんだよね。
しかも、蛇口からも冷水しか出ないんだよね。
石林は涼しい。
水ってあなた。風邪ひいちゃうよ。
真っ向から浴びられない。不潔ッ！！
それで窓がね。
あるんだけど、廊下向いてるからカーテンすら開けられないんだよね。
廊下は真っ黒に光を浴びてるというのに、この構造が恨めしい。

それで電気がね。
超暗いんだよね。最後の夜なんて8時くらいにベッドサイドの電球切れちゃって、
もう寝るしかなかったよ。

しかも掃除のおばさんがね。
「Don't disturb」のサイン120%無視で、朝からドアごんごん、鍵ガチャガチャやるんだよね。

そんな石林に本日早朝別れを告げ、
昆明に戻って43時間ぶりの食事にありつけた私。

うっきさぎでパスタを注文し、
わくわく、久々の洋食！！
楽しみに、そりゃもう楽しみに、運ばれてくるのを待っていたのです。

そして
出てきたのは、
うわーーーーお！！
私の大っ嫌いなピーマンがふんだんに使用されたパスタ！！

しょぼん。

しどい。

なんでさ。

でも私の身体は、心底食べ物を欲していたようで、
泣く泣く食べ始めたら、
おお！！
食べれるではありませんか！！

べろり☆

ピーマン食べれるなんて、飢餓ってすごぜ！！

人間やればできるぜ！！

思えば私が今まで訪れた中で、また行きたいと思う国は、
中国です。

どこも料理のおいしかった国に。
きっと食事に悩まされている中国には、もう戻ってこないだろう。
「男は胃袋から拙め」という格言がありますが、
女だって胃袋から拙まれるのだな、と気づきました。
そんなわけで、きっともう、二度と、石林へ行くことはないでしょう。
奇観と呼ばれる石林の風景を少しも楽しむ余裕はなく、
そして、「旅の恥は掻き捨て」という心強く有り難い言葉が無かったらきっと恥ずかし死して
いたろうなんて思いながら、
私の石林デイズは幕を閉じましたとさ。

チャンチャン♪ (泣)

カテゴリ:

post by 大谷 可奈子 | 日時: 2006.07.21 | [パーマリンク](#) | [コメント \(1\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[思い出だけ捨てればいいじゃない。](#) > 2006年07月 アーカイブ

一人反省会開会

[Tweet](#)

 いいね! 0

 チェック

石林に行ってきました。

多分もう二度と踏まない地となることは間違いないですが、
とにかく行ってきました。



こういう所です。
お祭りを目当てに行ったわけです。

行ってみると、とにかく、人、人、人、人、人、人、人、人!!
どっから湧いてくるんだ、一体!!
背の低い私には前が何にも見えない事態。
ひい。



そして皆の足元は





前夜の大雨のせいでぐっちゃぐちゃ。

このお祭り、火把節というやつで、この人達は闘牛を見に来てるのですが、、、

ここで一人反省会スタート。
ああ、やっぱりガイドが必要だったのね。
情報不足のせいで、到着が遅れ、人が多すぎて闘牛が何にも見えない。
撮れない。

一人で聞き込みして頑張ることが自分の為、と思っていた浅はかすぎる自分にしょぼん。

そして、体力不足。
疲労がピーク。
人が多すぎて思うように動けず、泥のせいで疲れても座れず、日差しがきつくて暑い。
こんな事でむずかる自分。情けなし。
でも落ち込んだままじゃいかん！！
とにかく撮れるだけ撮らなければ！！
大変な思いをして石林に留まっていた意味がないじゃないか！！

とにかく、自分で決めたノルマはクリアして、
脚が棒のようになりながらフラフラと帰りました。
この人の森めき合う感じ、1年生の時の課題の、浅草三社祭を思い出しました。
あの時は、ちゃんと行けるかとかすごく心配で、数日前に浅草まで様子を見に行っちゃった。

今は外国で言葉も通じないという状況なのに、
この4ヶ月でついてしまった「行けば何とかなるんじゃない？」グセ。

いかん。

三社祭の時のような、新鮮な緊張感を持ち続けなければ、
いつも撮影が不発に終わってしまう。

反省。
深夜まで続いた反省会。
嗚呼、取材の難しさよ。

カテゴリ:

post by 大谷 可奈子 | 日時: 2006.07.21 | [パーマリンク](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[思い出だけ捨てればいいじゃない。](#) > 2006年07月 アーカイブ

06.07.16

日中

[Tweet](#)

 いいね! 0

 チェック

今日は友達が出来た。

たぶんフィールドワークが始まってから
初めて自分から近寄ってできた友達だと思う。

でも
でも

言葉の壁。
あああ、何にもわからない。
一生懸命話してくれてるのに。

自分の語学力の無さが疎ましい。

1時間くらい一緒に座っていたけど、わかったことといえば、
◎お互いの名前（筆談による）
◎年齢（筆談による）
◎彼は写真を撮られたくない
◎貴重品はバッグに入れ、しっかりと前に抱えること（身振り手振りによる）

これぐらいだ。
でも彼が優しいということは、一緒にいたらわかった。

中国語会話本の
「あなたに会えてうれしい」
という例文を指したら、彼は
「私です」
という例文を探して指さしてくれた。

そして、私の名前を書いた紙を、
大事そうにポッケに入れてくれた。

うれしかった。
道行く人は、私たちをじろじろ見ていたけど、
たいして気にならなかった。

きっと彼も私も一生懸命だったから。

そして、彼が置いているカップに一元入れていってくれたおじさんに、一緒に「謝謝」と言った。

明日から石林。
がんばらなきゃ。

カテゴリ:

post by 大谷 可奈子 | 日時: 2006.07.16 | [パーマリンク](#) | [コメント\(1\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[思い出だけ捨てればいいじゃない。 > 2006年07月 アーカイブ](#)

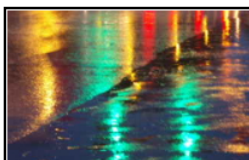
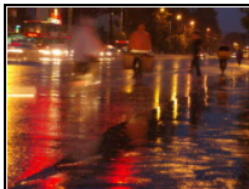
06.07.15

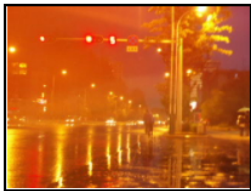
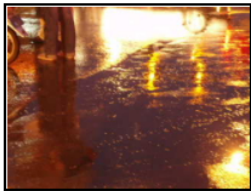
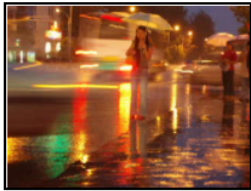
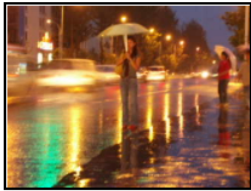
雨の日フィールザスクリーモ！！

[Tweet](#)

[いいね！ 0](#)

[チェック](#)





たまにはこんな日があってもさー

post by 大谷 可奈子 | 日時: 2006.07.15 | [パーマリンク](#) | [コメント\(1\)](#) | [トピックバック\(0\)](#)

カテゴリ:

06.07.14

わたしはあの子とちがうアナライズミー！！

[Tweet](#)

[いいね！ 0](#)

[チェック](#)



昆明。現地民はクンミンと言う。
雲南でもっと田舎かと思ってた。

母よ。

昆明は、中国の左下、雲南省にある街で、
少数民族の自治区がいっぱいあるのだよ。

写真撮る＝人の写真撮る＝人と向き合う
体力いることだなあ。

きっと、いつからか自分の中にある、無意識下の差別意識のせいなんだろう。
人から目を背ける自分が恥ずかしい。
何故、昨日彼の横でにこにこ笑っていたあの子のように、
無邪気になれないんだろう。

でも今日は素通りするのはやめようって思った。
こう意識すること自体が差別なのかもしれないけど、
とにかく、
同じ目の高さまでしゃがんで、
目を見て、
挨拶してみる。

「ニイハオ」
そしたら彼も笑顔で
「ニイハオ」
と言ってくれた。

私は彼に、ポケットの小銭を差し出したけど、
彼より先に私の口から
「謝謝」
という言葉が出た。

彼はにっこり笑って
「謝謝」
と言ってくれた。

本当に救われたのは私のほう。

私ってずるいのかな。
今日も頭の中がぐるぐるして、
一瞬晴れ間から射した日差しにくらくらした。

カテゴリ：

post by 大谷 可奈子 | 日時: 2006.07.14 | [パーマリンク](#) | [トランプバック\(0\)](#)

[思い出だけ捨てればいいじゃない。 > 2006年07月 アーカイブ](#)

06.07.12

昆明昏迷混迷

[Tweet](#)

[いいね！ 0](#)

[チェック](#)

今日からちうごくの一人旅が始まりました。

最初は昆明です。
部屋がなんだか広く感じます。

今日は撮影の為に、旅行会社に歩いて歩いて歩いて行って、
情報収集をしたのだけど、
不発。
そして自己嫌悪。吐きそっ！！

でもがんばります。

カテゴリ:

post by 大谷 可奈子 | 日時: 2006.07.12 | [パーマリンク](#) | [コメント\(1\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[思い出だけ捨てればいいじゃない。](#) > 2006年07月 アーカイブ

06.07.09

たかやまびょう

[Tweet](#)

いいね! 0

チェック

高山病。
いやいや、ほんとはこうざんびょうと読むのですがね。

皆さんも高いところに行くときは気をつけてください。

私はこいつのせいで、外をぶらぶら歩くことができませんinラサ。
嗚呼、空も山も絶好調に綺麗なのに。チクショー！！
なので謎めくチベットについて報告してみようと思います◎
ラサ。富士山の頂上より少し低いくらいの標高で、酸素は低地の60%。
普段の約半分です。
まじ、走ったりできません。
歩くこともままなりません。
そして紫外線強し。
ちなみに昨日の湿度は20%。オニ乾いてます。
同室の茶々子嬢は、ダウンした私のために、バスタブにお湯を溜めたり、枕元に濡らしたタオルを置いてくれたりしました。

涙涙。

そして、中国はでっかいのに、北京もラサも時差がないのです。
タイとマレーシアでさえも時差があったというのに。
おどろき！！
だからラサは日が暮れるのが夜10時です。
さすがに無理があると思います。

こんなラサとも明日でお別れーーーー
バイバイ西藏！！
(チベットは漢字で書くと西藏)

カテゴリ:

post by 大谷 可奈子 | 日時: 2006.07.09 | [パーマリンク](#) | [コメント\(1\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[思い出だけ捨てればいいじゃない。](#) > 2006年07月 アーカイブ

06.07.07

ラサでわたしは

[Tweet](#)

いいね! 0

チェック

私は今チベットのラサにいる。
ラサはチベット語で「神の地」という意味だとか。

神の地。

まゝ神についてはノーコメントですが、
とにかく、標高3600mはダテじゃない！

酸素うすっ！！
撮影に出掛けてみても、
ああ、息切れ、
ああ、めまい、
ああ、脚だるい、
ああ、心臓ばくばく、
ああ、頭ぐらぐら。。。

2時間が限界ダネ！







こんちゃん書いていたけど、ほんとに写真で自分を写してしまうものだと感じます。
写真に対する姿勢が出てしまうのはもちろん、
物事に向き合う姿勢は全て写真に出てしまうんだな、と思います。
だから、写真を撮っている以上、何も誤魔化せないのだと思います。
きたない所も、よわい所も。

カテゴリ:


post by 大谷 可奈子 | 日時: 2006.07.07 | [パーマリンク](#) | [コメント\(1\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[思い出だけ捨てればいいじゃない。 > 2006年07月 アーカイブ](#)

06.07.06

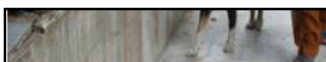
ネパール最後の日

[Tweet](#)

 いいね! 0

 チェック

ブログアップ
ブログアップ
せっせと
ブログをアップするのだ
この先どうなるかわからないから!!





ネパールで会った子供達。かわゆい。
人生は流動的だと感じます。
だって、きっと4年前の自分は、4年後にアジアを飛び回ってるなんて思ってもみなかったはず。
だからこの先もわかりません。
楽しいことも悲しいことも辛いことも、
山のようにたくさんあるけれど、
負けたくありません。
考えることから逃げたくありません。
だから、強くならなきゃいけないのだと思います。
中国は言葉も通じないし、一人だけど、
がんばります。
心細くたって泣いたりするもんか！！！！

カテゴリ：

post by 大谷 可奈子 | 日時: 2006.07.06 | [パーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)